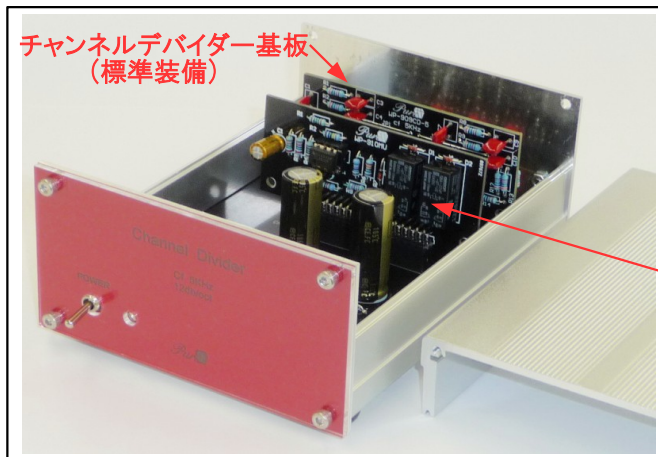


## 究極のマルチアンプシステムを実現!! チャンネルデバイダーフルキット



### WP-909CD

¥9,500-(税別)

ポップノイズ防止回路基板完成品(別売)  
**WP-910MU**  
¥3,500-(税別)

電源ON-OFF時のポップノイズから  
スピーカーユニットを保護します

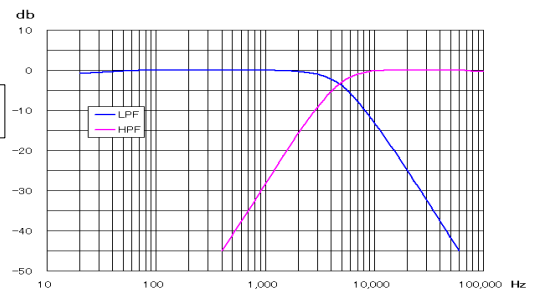
#### ●キットの概要

- ・ウーファーおよびトウィーターを専用のアンプでドライブする究極の「マルチアンプシステム」を手軽に構築できます。
- ・DC24VのACアダプター(別売)で動作します。  
内蔵のアナログ電源回路で±12Vを創出することにより高音質を実現しています。
- ・基板はすべて組立完成済み。ハンダづけ不要。
- ・オプションで「ポップノイズ防止回路基板完成品」を用意。

#### ●主な仕様

クロスオーバー周波数 5KHz  
減衰特性 -12db/oct  
電源 DC24V  
外形寸法 幅110mm 高さ60mm 奥行150mm(突起部除く)  
重量 580g

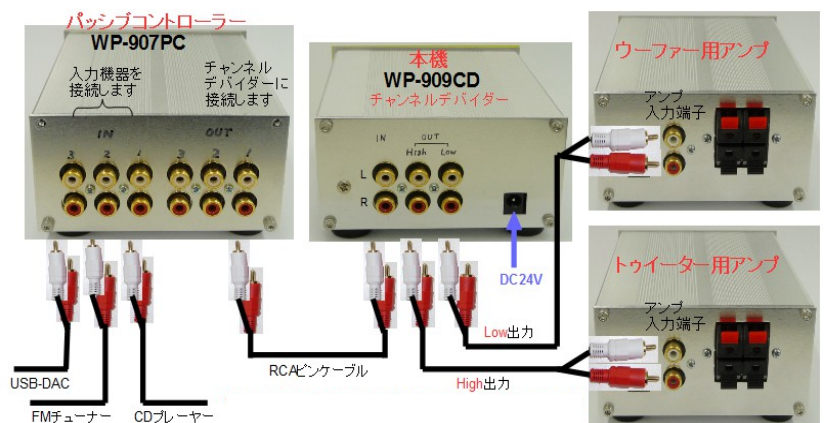
周波数特性



#### ●キットに含まれるパーツ



#### ●アンプとの接続例



**\*システム全体の信号経路をシンプルにして高音質を実現するため本機は音量調整機能を持っておりません。システム全体の音量調整を行うために「プリアンプ」もしくは「パッシブコントローラー」が必要です。**

#### \*操作手順

- (1)ウーファー用アンプのボリュームを最大にします。
- (2)パッシブコントローラーのボリュームで通常の音量に調整します。
- (3)トウィーター用アンプのボリュームでトウィーターの音量を調整しウーファーとのバランスをとります。
- (4)その後、2台のアンプのボリュームには手を触れず、システム全体の音量調整はパッシブコントローラーのボリュームで行います。

**\*カラー写真で構成された、わかりやすい「組立説明書」がついています**

# マルチアンプシステムってナニ? という基本的なギモンにお答えします

## ●ちょっとその前に・・・スピーカーシステムは「フルレンジ」と「マルチウェイ」に大別できます

ハダカのスピーカーを「スピーカーユニット」、ハコ(エンクロージャー)に組み込んだものを「スピーカーシステム」と呼んでいます



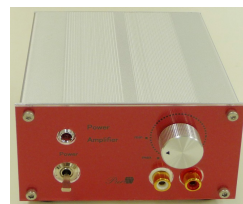
[フルレンジスピーカーユニット]

低音から高音までひとつのユニットで対応



[フルレンジスピーカーシステム]

低音～高音  
全帯域の信号



アンプは1台でOK



低音用ユニット (ウーファー)    高音用ユニット (トゥイーター)

[マルチウェイスピーカーユニット]

写真のようにユニットが2つのときは「2ウェイ・スピーカーユニット」と呼びます



[マルチウェイスピーカーシステム]

写真のようにユニットが2つのときは「2ウェイ・スピーカーシステム」と呼びます

高域信号

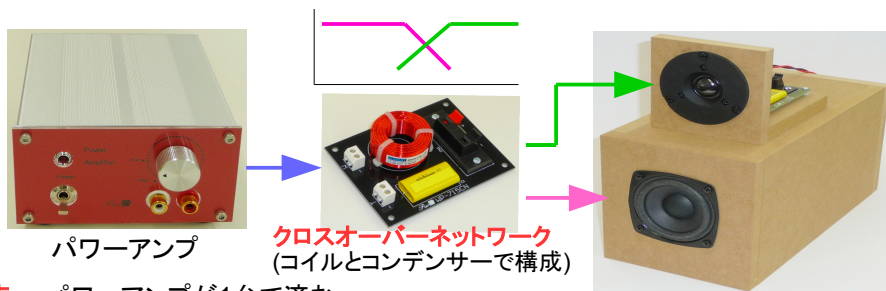
低域信号



全帯域の信号をウーファー用の「低域信号」とトゥイーター用の「高域信号」に分けてやらないとイケません

**それには2通りの方法があります**

### (1) パワーアンプの「後ろ」で分ける方法・・・クロスオーバーネットワーク方式



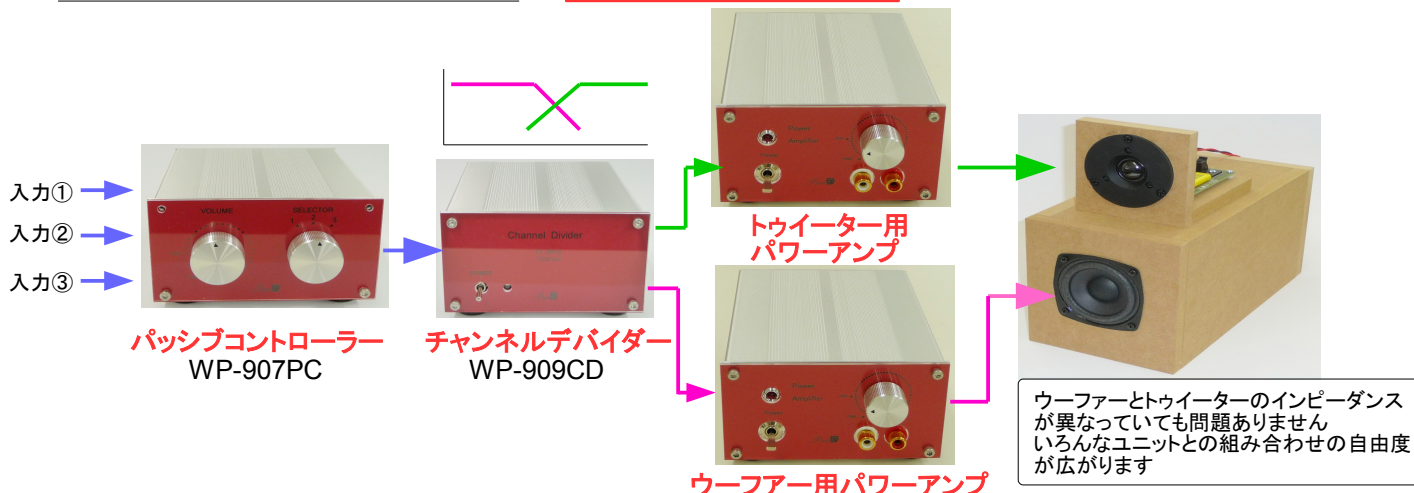
パワーアンプ

クロスオーバーネットワーク (コイルとコンデンサーで構成)

トゥイーターのレベル(音量バランス)調整をする場合は別途「アッテネーター」が必要です

- 利点
  - ・パワーアンプが1台で済む
- 欠点
  - ・ネットワークの設計が難しい(スピーカーユニットのインピーダンスは一定ではないので計算通りに行かない)
  - ・チャンネルデバイダーなみの急峻な特性を得るには写真の2倍のコイルとコンデンサーが必要で、高価になる
  - ・アンプ⇄スピーカーユニット間にコイルやコンデンサーが介入するため音質劣化が避けられない

### (2) パワーアンプの「前」で分ける方法・・・マルチアンプシステム



パッシブコントローラー WP-907PC

チャンネルデバイダー WP-909CD

トゥイーター用  
パワーアンプ

ウーファー用パワーアンプ

ウーファーとトゥイーターのインピーダンスが異なっても問題ありません  
いろんなユニットとの組み合わせの自由度が広がります

- 利点
  - ・スピーカーユニットのインピーダンスに影響されることなく設計通りの周波数で急峻な特性が得られる
  - ・ウーファーおよびトゥイーターのレベル(音量バランス)調整がカンタン・・・パワーアンプのボリュームでOK
  - ・アンプとスピーカーユニットを直結できるので高音質が得られる(ダンピングファクターの劣化がない)
- 欠点
  - ・パワーアンプが2台必要(トゥイーターは高能率なので小出力アンプでもOK)
  - ・オーディオファンの皆様は複数台のアンプをお持ちなので欠点にはならないかも?